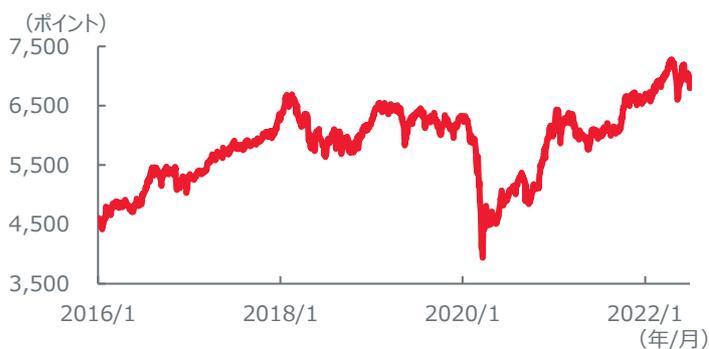


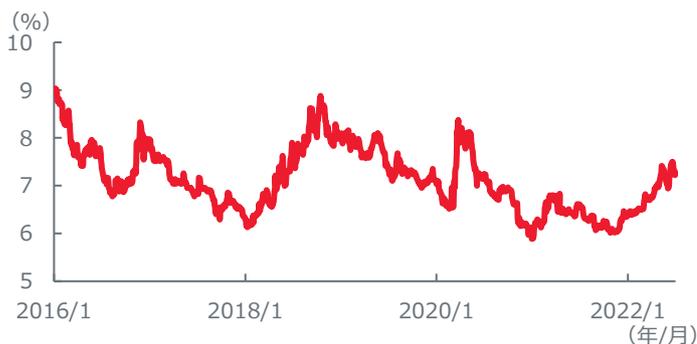
(対象期間：2022/6/27～2022/7/1)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2022年7月1日)

## 【株式市場】

世界的な景気後退懸念を背景とした商品価格の下落を受け、インドネシア株式市場は週初から石炭株やニッケル株などが急落し、軟調な展開となりました。28-29日は金属・鉱業株の下落や米テクノロジー株の急落を受けてインドネシア株式市場も続落しました。30日は翌日発表の6月の消費者物価指数（CPI）がインドネシア中央銀行（BI）の目標値である4%を上回る可能性が高いとの観測を受けて下落しました。7月1日に発表されたCPIは前年同月比+4.35%とBIの目標値を上回り多くの銘柄が下落し、インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/6/24	2022/7/1	変化率
7,042.94	6,794.33	-3.53%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2022年7月1日)

## 【債券市場】

28日のイスラム国債入札の応募額は発行予定額を上回ったものの、発行額が予定を下回り債券利回りはやや上昇（価格は下落）しました。大手格付け会社のフィッチ社は、インドネシアの経済成長見通しや財政再建の持続を評価し、格付けを「BBB」で据え置き見通しを安定的としました。29-30日は米国債利回りの低下を受けインドネシアの債券利回りも低下しました。1日に発表されたCPIは大幅上昇となり利回りは上昇しました。BI総裁はコアインフレ率が目標範囲内であることから利上げを急がない姿勢を示しました。10年国債利回りは前週末比低下しました。

2022/6/24	2022/7/1	変化幅
7.330	7.264	-0.066

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2022年7月1日)

## 【為替市場】

世界的な景気後退懸念が意識される中でルピアは週を通して対米ドルで下落傾向となりました。特にこれまで好調だった商品価格の下落などを背景に、株式市場から外国人投資家の資金流出が続いたことがルピアの下落につながりました。7月1日に発表された6月のCPIがBIのインフレ目標値を上回り、2017年6月以来の大幅上昇となったことを受けてルピアは週末にかけて更に下落しました。BI総裁がコアインフレ率が引き続き安定的であるとし、利上げに否定的な姿勢を示したこともルピアの下落につながりました。ルピアは前週末比対米ドル、対円ともに下落しました。

2022/6/24	2022/7/1	変化率
0.9099	0.9058	-0.45%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づき将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&amp;G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。